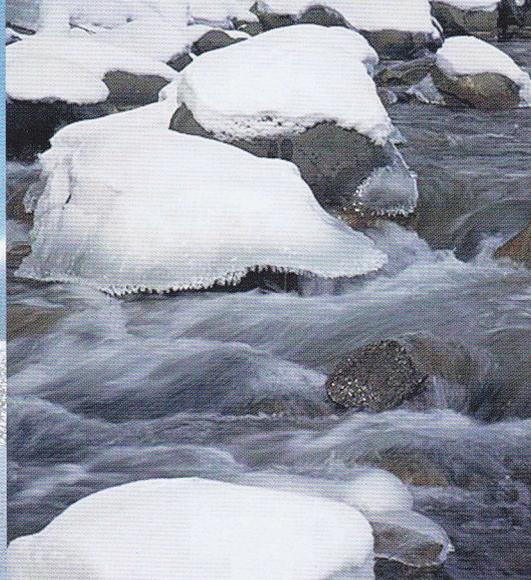
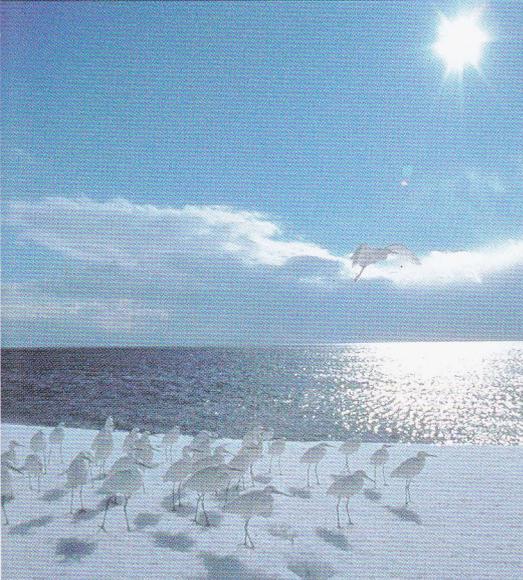
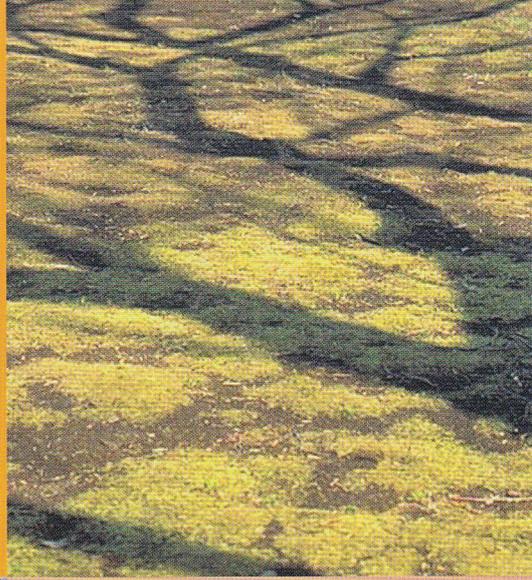


# 湖東 だより 第3号



心臓血管センター  
湖東記念病院

# 最新のイメージングテクノロジー の導入

寒気いよいよ厳しく、皆様にはおかわりございませんでしょうか。いつも一方ならぬお力添えにあずかり、誠にありがとうございます。何と言っても、今年には世界中が新型インフルエンザの猛威に晒された結果、我が国におきましても、医療機関の対応がそれに振り回され、大変な一年でした。今後の展開も予測が付きません。結局、ワクチンも間に合わず、残念ながら、感染リスク、重症化リスクの高い小児には蔓延してしまっているようです。一人の医師として、微力ながら何らかの貢献ができればと思っています。

さて、当院心臓血管センターでは、心臓CT導入以来4年が経過し、紆余曲折を経て、ようやく、理想の治療へのノウハウの蓄積が充実してまいりました。ここで、一旦、発想を転換し、さらなる良い成績を目指し、近日中にX線血管撮影装置を一新することに致しました。検査はCT、治療は心血管造影シネ装置を用いるのは言うまでもなく、当院では、いつの時代でも最新型の装置をもっとも良いタイミングで導入すべきと考えております。

現在は標準的な2台の装置を駆使し、年間700例以上のカテーテル手術を施行しておりますが、大きな問題点が2点ございました。

1点目は、腎機能障害(CKD)のある患者への対応です。腎保護のため、造影剤の使用を最小限にしたいが、治療のqualityが低下する一このジレンマを少しでも解消に近づけるための機械がバイプレーンのX線血管撮影装置です。これは、一度に2方向から撮影出来



心臓血管センター長  
馬淵 博

るため、単純に造影剤の量が半分ですみます。これは、患者様にとって朗報です。診断カテのみであれば、最少のケースですと、わずか12cc程度で可能です。

2点目は、一度に広範囲を撮影したい場合です。下肢血管のインターベンションや脳血管の検査、治療では、サイズがコンパクトな心臓よりも、広範囲の透視、撮影が要求されます。これを解決するため、FDP(フラットパネルディテクタ、撮影範囲を規定する部分)が通常の20cm×20cmではなく、30cm×30cmサイズが必要です。今回、当院では、上記2点の問題点解決を目指し、バイプレーン(FDP×2)装置、30cm×30cmサイズの大型FDP搭載装置の2台を、来年2月までのほぼ同時期に導入予定です。これにより、治療システムとして、関西では最も進んだものが完成する予定です。諸先生方のご活用、心よりお待ち申し上げます。

これからも、診断、治療時間の短縮、qualityの向上、24時間救急対応など、患者様に負担をかけず、信頼される病院になることを目指し続けて参ります。

最後になりましたが、実際の今年も慌ただしく終わろうとしています。ご家族健康でよき新年を迎えられますよう、お祈りしております。

# 新しいシネアンギオ装置への期待



心臓カテーテル室長  
武田 輝規

平素より諸先生方には大変お世話になりありがとうございます。  
うございます。

さて、昨今の医療分野における技術革新というのはとどまることを知らず、ハードウェア的にもソフトウェア的にも加速度的に日々進化しているようがあります。より高速で、より正確な画像診断装置や治療技術は、我々医療従事者だけでなく、もちろん患者様に対しても、より確実で、より安全で、肉体的にも精神的にも負担の少ない医療を実現させることができます。そんな一昔前までは夢物語であったような装置が、最近になり次々に私達の手に届くところとなり、患者様へ還元できることは非常に喜ばしいことでもあります。3年前に当院に導入されたマルチスライスCT装置での心臓CT撮影もその一つであります。

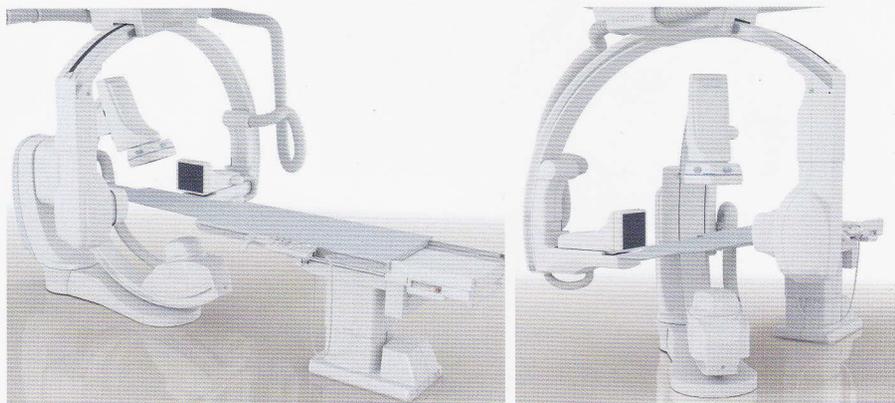
この度、平成22年春より稼働します最新型のシネアンギオ装置はまさに我々が待ちに待ったドリームマシンであります。心臓専用機は同時2方向撮影が可能なバイプレーンフラットパネル装置であり、造影剤使用量の半減と高度複雑病変への正確な治療を可能とします。当院での造影剤の平均使用量は診断カテ時は約60cc、インターベンション治療時で約140ccでありますので、単純にこれが半分になるとすれば患者様に大きなメリットになるのはいうまでもございません。

これまで当院ではCKD(慢性腎臓病)を有した患

者様への検査や治療には、非常に細いカテーテルを使用したり、血管内超音波を併用することによって、造影剤を必要最小限にする努力をしてきました。平成21年9月には最新型自動造影剤注入器を導入することにより、少量の造影剤を効率よく注入し血管造影することが可能となりました。今回のこのバイプレーン装置の導入により、当院での「造影剤腎症予防への取り組み」は完成型に近づいたと考えられます。あとは我々のカテーテル技術をさらに向上させることでしょうか。

いずれにしても、このような最新モダリティの導入により、今までできなかったことが、着実に実現できるようになってきており、そういう意味での環境作りは成熟の域に達したと思われま。是非、御心配な患者様がおられましたら、一度当院へ御相談してみてください。以前は適応がないと考えられていた患者様でも今なら何かしてあげられることがあるかもしれません。今後、新しい装置が皆さんにとってもドリームマシンになるように頑張りたいと思っております。

また今後とも何卒変わらぬ御指導の程宜しくお願いいたします。



平成22年春、当院に導入される東芝社製 X線循環器診断システム Infinix Celeve-i INFX-8000V

# 心臓CTの有用性

はじめまして。2009年9月から湖東記念病院 循環器科に赴任してまいりました只野雄飛(ただのゆたか)と申します。2004年に旭川医科大学 医学部を卒業、現在は6年目、年齢は30歳です。生まれは北海道旭川市の隣町の鷹栖町、実家は農家、旭山動物園にほど近い旭川東高校の出身です。卒後1年目は大阪赤十字病院(研修医)、2年目は京都大学医学部付属病院(研修医)、3年目から6年目の半ばまで三菱京都病院 心臓内科(後期研修医)に勤務しておりました。趣味は読書(ビジネス書、小説など)、学生時代には空手をやっておりました。専門は心臓カテーテル治療であり、現在、上級Drの指導のもと日々研鑽を積んでおります。

私の「心臓CTの有用性」についての考えを述べます。私は前の病院で心臓内科として毎週水曜日に新患外来、第2と第4土曜日に再診外来を担当していました。冠動脈疾患の精査、あるいは除外診断目的の紹介患者様(開業医の先生方からの御紹介は非常にありがたいものです)には、受診当日はまずトレッドミル負荷心電図を行い、患者様が希望されない場合や不安定な病状を除き、1週間後くらいの心臓CTの予約と、さらに別の日の結果説明の診察予約をして当日は御帰宅いただいていた。この点に関して湖東記念病院は優れていて、紹介受診当日に心臓CTと結果説明が可能。つまり、患者様が紹介状を持って受診の受付をしてから、早ければ約2~3時間で心臓CTとその



循環器科

只野 雄飛

結果説明まで終えることができます。地域連携室を通じてご予約いただければ、さらに短時間で可能です。

近年、冠動脈疾患の診断に心臓CTが選択肢として追加されたことで、重症度や緊急性、患者様のニーズに対応した診断手順をとることが可能となりました。初診の患者様が当日に心の準備もなく「このままでは確定診断できないのでカテーテル検査をしましょう。」といわれると、さすがに抵抗感を感じるはず。です。

心臓CTの弱点は①冠動脈石灰化(真っ白に映り狭窄度が評価不能)、②腎機能低下(平均造影剤使用量は65ml程度)、③造影剤アレルギーや喘息(必要であれば予防のため側管からステロイドを点滴)、④頻脈(検査1時間前にセロケンを内服し脈拍を65/min以下に下げます)、⑤心房細動、⑥息止めができない方、などです。患者様には検査前に、「アレルギーや腎機能障害のリスク」「点滴が必要」「造影剤が入る瞬間に体がカッと熱くなる」「15秒程度の息止めが必要」といった内容を説明し同意書をいただいています。

未熟者で何かと御迷惑をおかけすることと存じますが、何卒よろしくお願ひ申し上げます。



## ■循環器科外来担当表

		月	火	水	木	金	土
循環器科	午前	坂口	馬淵	村上院長 (一般内科・循環器)	巢山	村上院長 (一般内科・循環器)	非常勤
		武田	巢山	静田(2週)	前田	武田	静田(4週)
	午後	前田		坂口		馬淵	

〈午前診〉受付 7:30~11:30 診察 9:00~12:00

H21.10.27改訂

〈午後診〉受付 13:30~15:00 診察 13:00~15:30

※月2回 京都大学医学部附属病院 不整脈科 静田先生が来院されます。

※ペースメーカー外来 毎月第1金曜日 午後〈予約制〉

## ■循環器科外来について

平素は格別のご高配を賜り、又患者様をご紹介いただき厚く御礼申し上げます。

さて、当院の循環器科外来についてご紹介させていただきます。循環器科外来につきましては村上(院長)・非常勤医師を除きまして、原則予約制となりますが、先生方よりご連絡をいただいた際には、その医師が責任をもって診察させていただきます。

地域医療機関との連携と患者サービスの向上に努めて参りますので、今後ともよろしくお願い申し上げます。

ご質問等がございましたら、お気軽に地域連携室までお問い合わせください。

地域連携室



## ■ご案内

### ○電車でお越しの方

JR能登川駅よりタクシーで20分、バスで25分

(市ヶ原〔角能線〕行き・湖東記念病院前下車)

近江鉄道八日市駅よりタクシーで20分、バスで25分

(僧坊〔湖東線〕行き・湖東記念病院前下車)

### ○車でお越しの方

名神高速道路 八日市インターより15分

駐車場：150台

料金：無料

※駐車場内での事故、盗難、破損等につきましては病院側では一切責任を負いませんのでご了承ください。

## 心臓血管センター 湖東記念病院

地域連携室 TEL. 0749-45-4512  
FAX. 0749-45-3335

ホームページアドレス  
URL <http://www.subarukai.jp/>

〒527-0134 滋賀県東近江市平松町2番地1  
TEL. 0749-45-5000 FAX. 0749-45-5001